

平成23年度 京都市予算案 事業概要

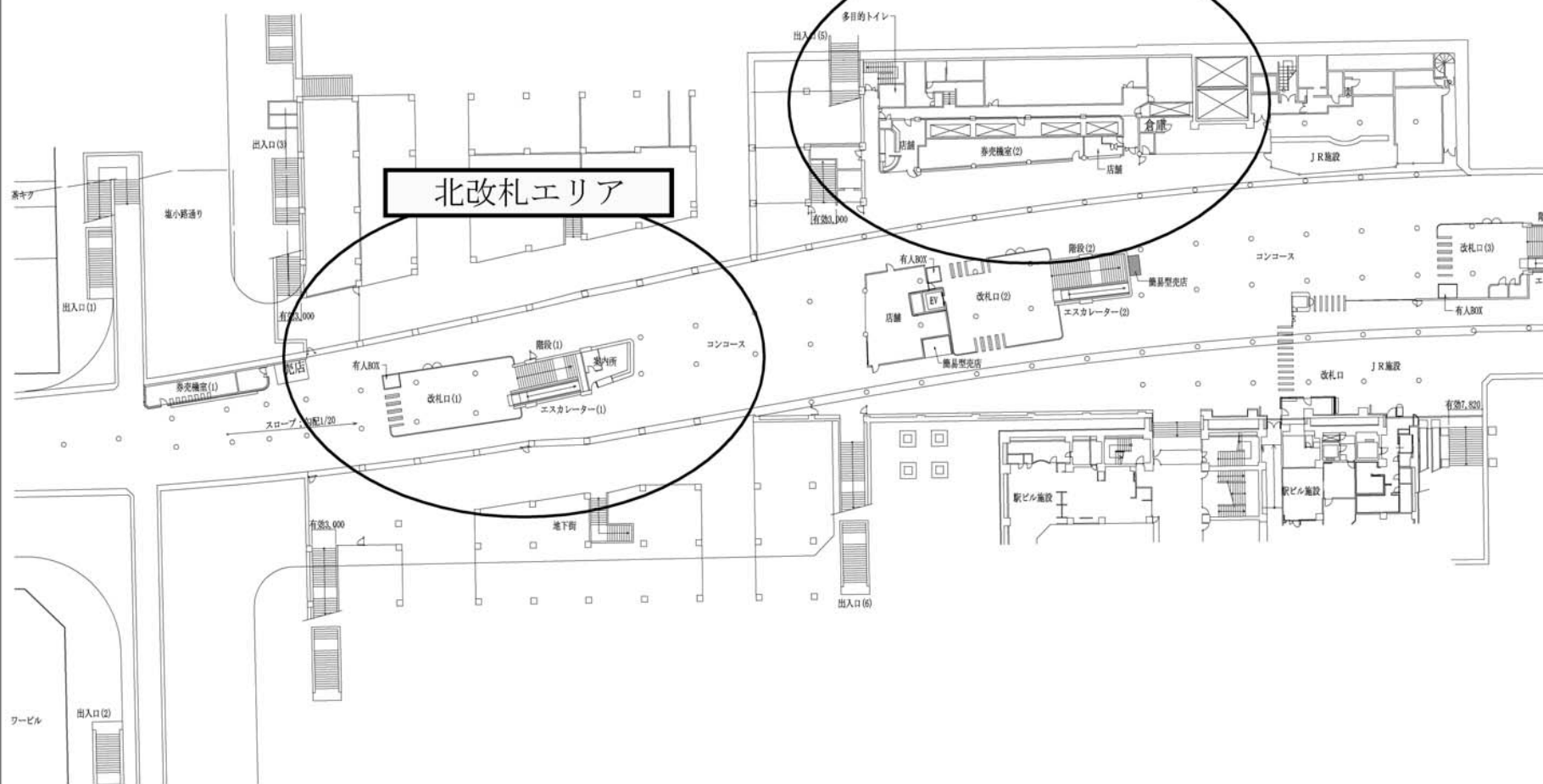
交 通 局

事務事業名	地下鉄京都駅賑わい創出事業																						
予 算 額	170,000 千円	新規・継続の別	新規																				
	〔うち一般会計出資金 102, 000 千円〕	未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠																				
担 当 課	企画総務部企画課(863－5068)																						
〔事業実施に至る経過・背景など〕 京都の玄関口である京都駅。ＪＲや近鉄，地下鉄が結節するこのエリアは，京都市内における交通の中枢の一つであり，四条・河原町と並ぶ商業ゾーンとして，日々多くのお客様がショッピング等に来られる活気溢れるエリアとなっている。 そこで，地下鉄財政の健全化をより進めていくため，一番乗降客数が多い地下鉄京都駅に，地下鉄駅構内商業スペース「Kotochika（コトチカ）」を整備し，駅ナカビジネスの更なる展開を図る。 便利でおしゃれな「Kotochika（コトチカ）」を京都駅に設置することで，四条駅と同様に地下鉄をご利用いただいている多くのお客様の利便性の向上や乗客の増はもとより，消費の増や雇用の創出にもつなげていく。 〔事業概要〕 <table><tr><td>1</td><td>所在地</td><td>京都市下京区東塩小路町地先</td><td>地下鉄京都駅構内</td></tr><tr><td>2</td><td>総事業費</td><td colspan="2">約 750, 000 千円</td></tr><tr><td>3</td><td>創出面積</td><td colspan="2">約 600 ㎡（北改札及び中央改札エリア）</td></tr><tr><td>4</td><td>年次計画</td><td colspan="2">平成 23 年度 設計，工事 平成 24 年度 工事，開業予定</td></tr><tr><td>5</td><td>その他</td><td colspan="2">出店店舗については，平成 23 年度中に公募し，事業者選定委員会において選定する予定である。</td></tr></table>				1	所在地	京都市下京区東塩小路町地先	地下鉄京都駅構内	2	総事業費	約 750, 000 千円		3	創出面積	約 600 ㎡（北改札及び中央改札エリア）		4	年次計画	平成 23 年度 設計，工事 平成 24 年度 工事，開業予定		5	その他	出店店舗については，平成 23 年度中に公募し，事業者選定委員会において選定する予定である。	
1	所在地	京都市下京区東塩小路町地先	地下鉄京都駅構内																				
2	総事業費	約 750, 000 千円																					
3	創出面積	約 600 ㎡（北改札及び中央改札エリア）																					
4	年次計画	平成 23 年度 設計，工事 平成 24 年度 工事，開業予定																					
5	その他	出店店舗については，平成 23 年度中に公募し，事業者選定委員会において選定する予定である。																					
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕 ・地下鉄京都駅の 1 日平均乗降客数 約 102 千人																							

京都駅の改修予定エリア

中央改札エリア

北改札エリア



平成23年度 京都市予算案 事業概要

交 通 局

事務事業名	地下鉄事業の経営健全化の取組		
予 算 額	— 千円	新規・継続の別	継 続
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	—
担 当 課	企画総務部企画課(863－5056), 財務課(863-5080)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
平成 20 年度決算で、財政健全化法に定める経営健全化基準（資金不足比率 20％）を上回り、同法に基づく経営健全化団体となったため、資金不足比率を経営健全化基準未満に引き下げ、将来にわたって地下鉄を安定的に経営することを目標とした経営健全化計画を、平成 22 年 3 月に市会の議決を得て策定した。 平成 23 年度においても、同計画に掲げた健全化策に、京都市を挙げて全力で取り組んでいく。			
[平成 23 年度における主な経営健全化の取組]			
1 増収増客策			
(1) <u>地下鉄開業 30 周年記念事業の実施</u>			
(2) 駅ナカビジネスの積極的展開			
<u>地下鉄京都駅賑わい創出事業の着手</u>			
2 総人件費の削減			
駅職員業務の民間委託拡大 (<u>2 駅</u>)、業務の効率化等による職員数削減、給料・管理職手当のカットの継続など			
3 高金利建設企業債の借換え			
利息負担の軽減を図るため、国制度を活用し高金利建設企業債を借換え			
4 一般会計からの支援			
(1) <u>地下鉄京都駅賑わい創出事業への出資</u>			
(2) 国制度に基づく経営健全化対策出資			
(3) 高資本費対策補助（市バスへの一般会計補助削減により財源を確保）			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成23年度 京都市予算案 事業概要

交 通 局

事務事業名	市バス事業の経営健全化の取組		
予 算 額	一 千円	新規・継続の別	継 続
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	—
担 当 課	企画総務部企画課(863－5056), 財務課(863-5080)		
[事業実施に至る経過・背景など]			
平成 20 年度決算で、財政健全化法に定める経営健全化基準（資金不足比率 20％）を上回り、同法に基づく経営健全化団体となったため、一般会計からの任意補助金を削減しつつ、資金不足比率を経営健全化基準未満に引き下げ、累積資金不足の解消後は、一般会計の任意補助金から自立した経営を行っていくことを目標とした経営健全化計画を、平成 22 年 3 月に市会の議決を得て策定した。 平成 23 年度においても、同計画に掲げた健全化策に、京都市を挙げて全力で取り組んでいく。			
[平成 23 年度における主な経営健全化の取組]			
1 増収増客策			
(1) お客様の利便性向上に向けた市バス運行の充実			
①地下鉄をはじめとする鉄道との乗継利便性の向上			
②堀川通のダイヤ充実			
③東山方面から京都駅への運行充実			
(2) バス待ち環境の向上			
広告付きバス停上屋の整備を促進するなど、バス停上屋やベンチを充実			
(3) お客様サービスの向上			
① <u>ポケロケシステム（携帯電話用の市バス接近情報提供システム）の複数系統表示</u>			
② <u>バス停時刻表の文字拡大による視認性向上</u>			
③ <u>交通局ホームページでのポケットサイズ時刻表の印刷サービス</u>			
2 総人件費の削減			
業務の見直し等による職員数削減、給料・管理職手当カットの継続など			
3 バス車両購入費の削減			
車両更新年数の延伸を基本として、更にバス車両の状態を点検精査し、更新車両数を徹底的に抑制（更新車両数 7 両）			
4 一般会計からの任意補助金の削減			
バス車両減価償却費等補助金を前年度に引き続き 30％削減し、削減額の一部を一般会計から地下鉄事業への支援に活用			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			